

生徒指導はここまで深化している

— 実証研究をもとに第一線の研究者が詳しく解説 —

罰的アプローチではなく、一人一人に届く包括的な生徒指導とは？近年の動向をふまえ、包括的アプローチの構造、実践に基づく成果等、豊富な実証研究をもとにお話いただきます。

2014.3/2 (日)

10:00 ~ 17:00 (受付 9:30 ~)

京都大学芝蘭会館 山内ホール

〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町 京都大学医学部構内

参加費 **無料**

定員 **100名**

※日米同時通訳あり

【プログラム】

午前の部

10:00 ~ 12:00

■ あいさつ 高見 茂

国立大学法人 京都大学 理事補
京都大学国際高等教育院教授 (大学教育学研究科 併任)

■ わが国における生徒指導近年の動向について

講師 栗原 慎二氏

広島大学大学院 教育学研究科附属教育実践総合センター 教授

午後の部

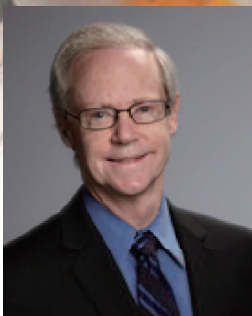
13:30 ~ 17:00

■ 米国における自治体レベルで取り組む

生徒指導包括的アプローチの実際

- 実証研究例
- 包括的アプローチの概要
- 取り組みの手順
- どのようなデータをいつ収集すべきか 等

講師 ランディ・スプリック 博士



Safe & Civil Schools シリーズの著者。安全で支援的な教育環境を創造する学校包括的アプローチの先駆的研究者。これまでエビデンスに基づき全米で数十万人の生徒を対象に自治体レベルで指導・支援し、深刻な問題行動を激減させている。

「クラスに、大変暴力的な生徒が1人いる場合、クラス全体のacademic productivity(学問的生産性)は減じます。指示に従わない生徒が7人いれば、そのクラスの誰も学ぶことはできません。一方、罰的アプローチは、一見効果があるように見えますが、子どもの内面の成長を促しません。「だから何?現象」と呼んでいますが、深刻な問題行動のある生徒は、『こうすればこうなるよ』との学校の措置には、『だから何? (So what?)』と反応し、気にもとめないのです。」それではどうすれば? 続きはぜひセミナーで!

お問い合わせ・お申し込み先

✉ cseminar@educ.kyoto-u.ac.jp

>> お申し込み方法

件名: 生徒指導セミナー 参加申込

1. お名前 (ふりがな)
2. ご所属
3. ご連絡先 (電話番号およびメールアドレス)

以上を明記の上、メールにてお申し込みください

※定員になり次第、締め切ります

※昼食は、各自で持参ください

必ず件名に、「生徒指導セミナー」とご記入ください

>> 地図



<最寄り駅>京阪 出町柳駅より

- ・市バス(出口4番) 出町柳駅前 201系統「祇園みち」行約5分、京大正門下車 徒歩2分
- ・タクシー(出口6番) 約3分
- ・徒歩約15分(出口2,4番)